

5. 平成 19 年度 地域安全学会技術賞審査報告

地域安全学会 表彰委員会

今年度に創設された技術賞の募集に対し計 6 編の論文が投稿され、2008 年 3 月に審査が行われた。

ここでは、その審査要領と審査結果について報告する。

■平成 19 年度「地域安全学会技術賞」の審査要領(抜粋)

1. 受賞対象者

「地域安全学会技術賞 候補業績募集要領」に基づき応募された「地域社会における安全性および住民の防災意識の向上を目的として開発され、顕著な貢献をしたすぐれた技術（システム、手法、防災グッズ、情報技術、マネジメント技術を含む）」を対象とする。

2. 審査方法

- (1) 表彰委員会委員全員、学会長、副会長、学術委員長、学術委員会副委員長、春季研究発表会実行委員長、秋季研究発表会実行委員長）から構成される技術賞審査会が審査を行う。
- (2) 表彰委員会委員長は、技術賞候補の応募期日後に三分の二以上の構成員を招集し、技術賞審査会を開催する。
- (3) 技術賞審査会では、応募状況の報告、審査方法の確認、および技術賞選定に関する審議と決定を行う。
- (4) 審査は、当該技術の①実績、②有用性・実用性、③革新性・新規性、④一般性・汎用性、および⑤将来性・展開性を考慮した以下の手順に従い、行われる。
- (5) 各審査員は評価シートを用いて、各々の候補技術を上記①から⑤の評価項目に基づき総合的に評価する。そして、すべての候補技術を順位が重ならないように順位づけし、地域安全学会技術賞にふさわしい技術を選定する。
- (6) 表彰委員は、すべての審査員により提出された評価シートに基づき、技術賞受賞候補を選定する。
- (7) 第 2 回技術賞審査会で技術賞受賞候補について審議を行い、理事会の承認のうえ、受賞技術を決定する。
- (8) 審査の実施細目は別途定める。

■審査結果

平成 19 年度地域安全学会技術賞

審査会による審議の結果、以下の 1 点の技術の応募者が選出された。

- ・「住民の地震対策を誘導する教材の開発と啓発・育成活動の実践」

福和伸夫（名古屋大学大学院環境学研究科）